

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】

令和元年 7月17日(水)
13:30～15:00
金沢河川国道事務所
2階会議室

<議事次第>

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 設立趣旨、規約、部会員について
4. 石川県の建設分野の労働力需給状況等
5. 議題
 - (1) 平成30年度北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（報告）
 - ・ 石川県部会開催の概要
 - ・ 各機関の取り組み紹介 など
 - (2) 令和元年度の取り組み予定
 - (3) 今後の開催時期について
 - (4) 意見交換等

6. 閉会

<配付資料>

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ (資料1・2) 設立趣旨、規約・構成員
- ・ (資料3) 石川県の建設分野の労働力需給状況等
- ・ (資料4) 平成30年度 石川県部会の概要
- ・ 平成30年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（石川県部会関係抜粋資料）
 - (資料5-①、②) 平成30年度 石川県部会の取り組み
 - (資料6) 担い手確保アンケート結果
- ・ (資料7) 令和元年度の取り組み予定
- ・ (資料8) 開催時期について

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(石川県部会)

第1回部会 出席者名簿

令和元年7月17日(水)

	所 属	役 職	部会員	(代理)	出欠	随行等
1	(一社)日本建設業連合会	北陸支部 総務常任委員	伴野 哲也		○	平本慶枝
2	(一社)石川県建設業協会	常務理事	地中 浩		○	
3	(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	北川 隆明		×	
4	(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	新家 久司		○	
5	(一社)石川県測量設計業協会	副会長	磯野 秀和		○	
6	(一社)石川県地質調査業協会	会長	矢野 好二		○	玉村清文
7	金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系	教授	中山晶一朗	村田晶 助教	○	
8	金沢工業大学 工学部環境土木工学科	教授	徳永 光晴		○	
9	石川県立大学 環境科学科	教授	瀧本 裕士		○	
10	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	教授	重松 宏明		×	
11	石川県立小松工業高校	校長	諸角 敏彦		×	
12	金沢市立工業高等学校	校長	小酒 正明		○	
13	石川県立羽咋工業高等学校	校長	稲垣 裕		○	
14	石川県立翠星高等学校	校長	鷺澤 勝		○	根石修
15	石川労働局 職業安定課	課長	宮崎 栄一郎		○	
16	北陸地方整備局 建政部	建設業適正契約推進官	石川 孝行		×	
17	金沢河川国道事務所	事務所長	◎ 山田 哲也		○	
18	石川県 土木部	監理課長	寺西 義行	中 健紘 専門員	○	
19	石川県教育委員会事務局 学校指導課	指導主事	平沢 謙輔		×	

◎部会長

事務局	金沢河川国道事務所	副所長(河川担当)	大角 一浩	×
	金沢河川国道事務所	副所長(道路担当)	尾崎 誠	×
	金沢河川国道事務所	工事品質管理官	谷口 雄一	
	金沢河川国道事務所	品質管理課長	藤田 重敬	

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【石川県部会】 配席図

金沢河川国道事務所 2F 会議室

(※ 敬称略)

石川県土木部
監理課長
寺西 義行
(代)中

北陸地方整備局
金沢河川国道事務所長
山田 哲也

石川労働局
職業安定課長
宮崎 栄一郎

→
(入り口)

(一社)日本建設業連合会
北陸支部 総務委員 ○
伴野 哲也

(一社)石川県建設業協会
常務理事 ○
地中 浩

(一社)コンサルタンツ協会
北陸支部 副支部長 ○
新家 久司

副会長 ○
磯野 秀和

（一社）石川県地質調査業協会 会長 ○
矢野 好二

金沢大学
○ 理工研究域地球社会基盤学系教授
中山 晶一郎 (代)村田

金沢工業大学 工学部
○ 環境土木工学科教授
徳永 光明

石川県立大学
○ 環境科学科教授
瀧本 裕士

金沢市立工業高等学校
○ 校長
小酒 正明

羽咋工業高等学校
○ 校長
稲垣 裕

○ 翠星高等学校
校長 鷲澤 勝

事務局(金沢河川国道事務所)

→
(入り口)

工事品質管理官
谷口 雄一

品質確保課長
藤田 重敬

報道席

報道席

隨行者

報道席

報道席

事務局

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第 1 条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第 2 条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第 3 条 協議会の構成員は、別紙 1 のとおりとする。

（座長）

第 4 条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第 5 条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第 6 条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙 2 に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙 2 のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(事務局)

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

(雑則)

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

附 則 この規約は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 この規約は、平成30年2月1日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	環境調整官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長

34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長
44	石川県立大学 生産資源環境学部 環境科学科	

◎：座長

○：部会長

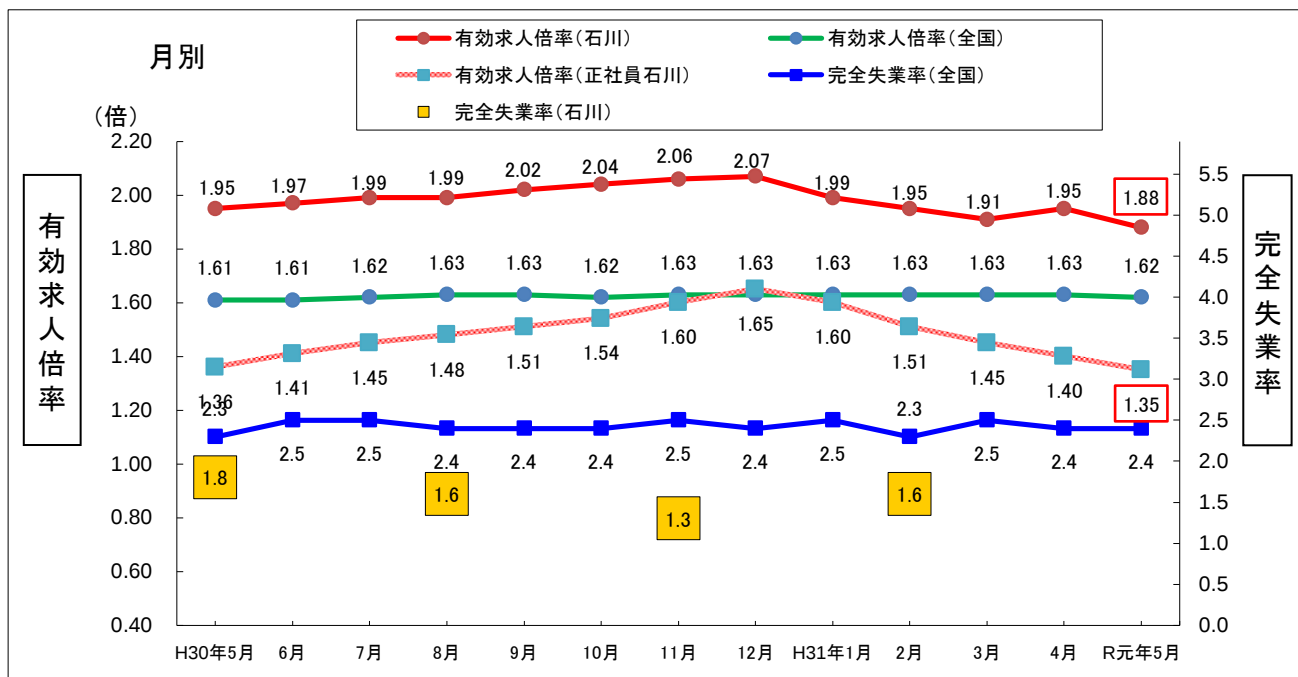
石川県の建設分野の労働力需給状況等

石 川 労 働 局

石川県の建設分野の労働力需給状況等

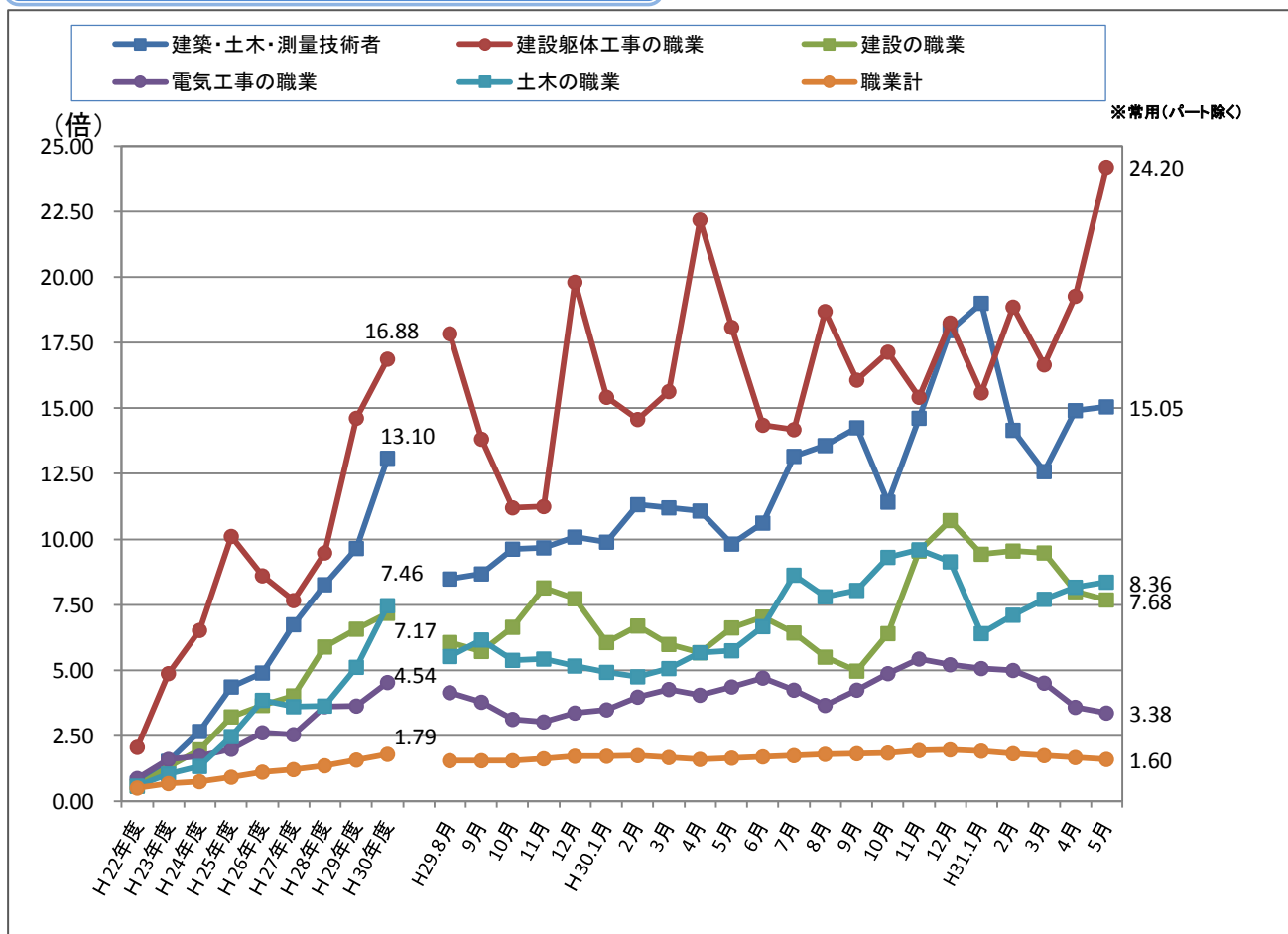
1.有効求人倍率・失業率の推移(令和元年5月時点)

令和元年7月 石川労働局



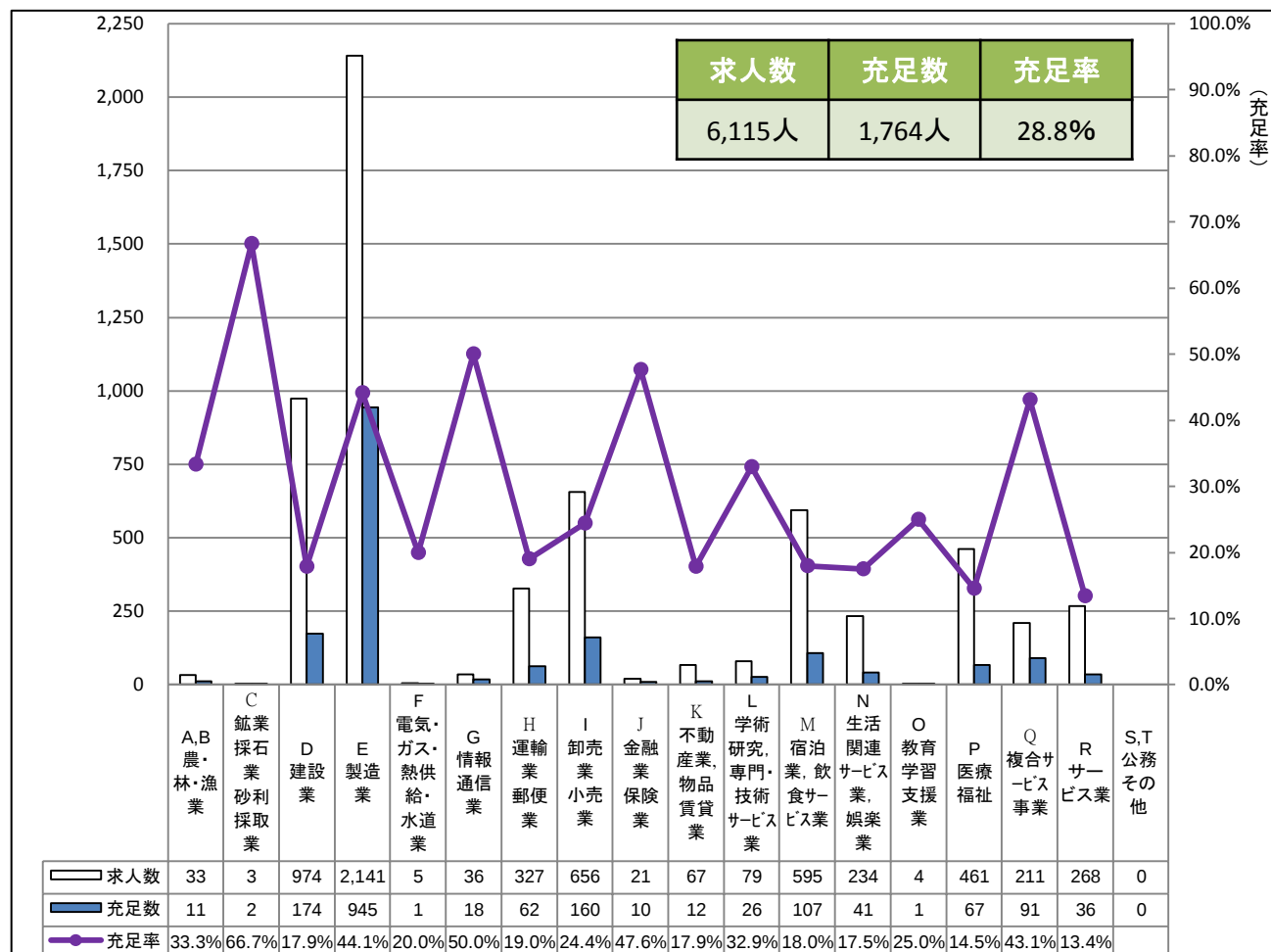
※出典 職業安定業務統計

2.建設分野の職業別求人倍率(令和元年5月内容)



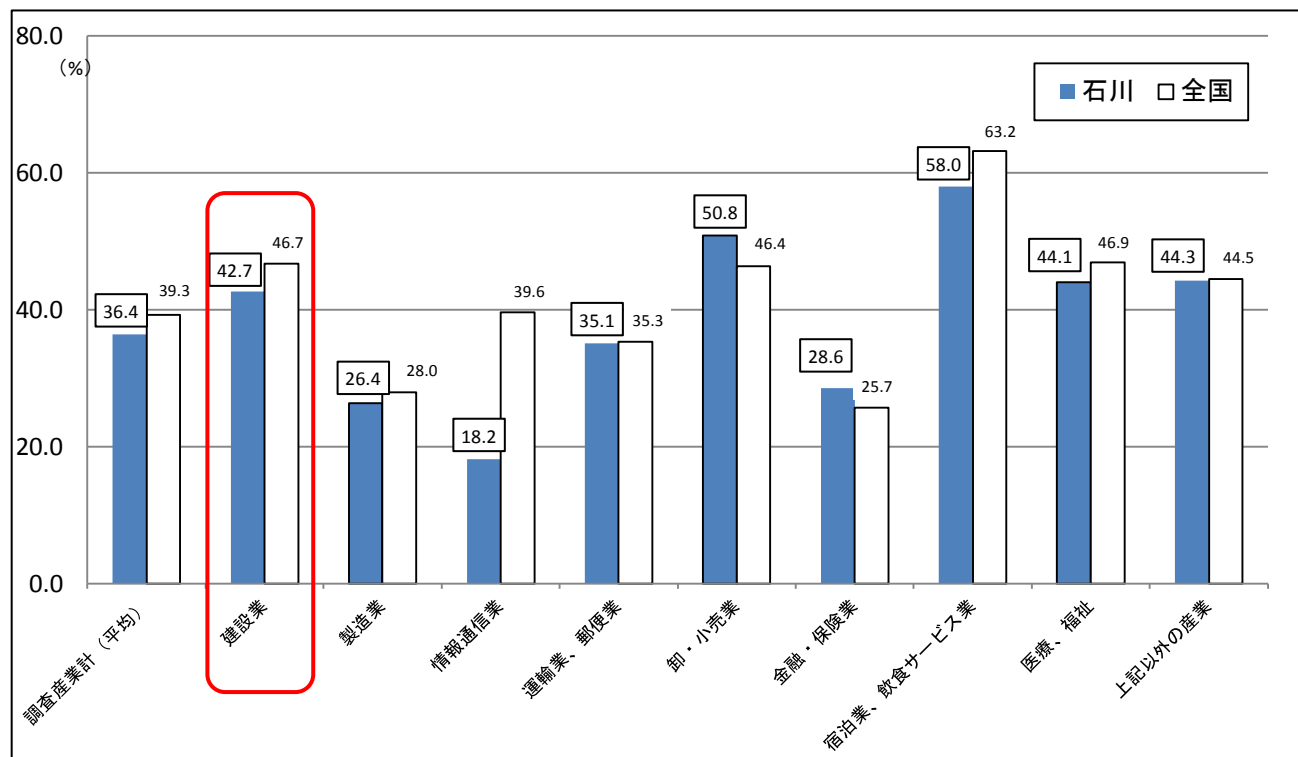
※常用(パート除く)

3.平成31年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人充足状況（平成31年3月末現在）



※出典 石川労働局調べ

（参考）H27.3新規高校卒業者 卒業3年後の離職率＜全国と石川比較（主な産業）＞



H30年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会【第一回石川県部会】開催報告

- 6月11日、産学官が連携の「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第1回石川県部会】」を開催し、各機関によるこれまでの取り組みと今年度計画されている現場見学会や就職説明会等の活動予定について紹介、さらに現状の課題等に関する意見交換を行いました。
- 参加機関からは、「離職してしまう理由としては職場の中で同世代がいないことによるコミュニケーションの問題が大きい」「新技術の導入により“この業界には明るい未来がある”ということを現場見学会などを通じて示すことが重要」といった様々な課題、意見が寄せられました。

開催概要

【日 時】平成30年6月11日（月）10:00～11:45

【開催地】金沢河川国道事務所 会議室

【構成機関】

【行政】北陸地整建政部、金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会

【建設産業】日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルツ協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会

【教育】金沢大学、金沢工業大学、石川県立大学、石川高専、金沢市工高、石川県立羽咋工高、小松工高、翠星高校

会議の主な発言要旨

- ◆ せっかくこの業界に入っても3年で3～5割が離職してしまうといわれる。離職の原因としてはコミュニケーションの問題が大きい。同世代の先輩がいないため相談もできず孤立化し離れていく。これには官公庁からの工事発注を継続的に行うことで、企業側も継続的・計画的に採用可能となる。5年経ったらこの先輩のようになっている、と自分の姿のイメージを見せられることが重要。
- ◆ 学生・生徒を対象とした現場見学会では、漠然と現場見学に行くことのないよう、その現場で何を見せたいか、見どころを明確にして説明するようにしてもらいたい。
- ◆ 建設系の学科を選択してもらうためには保護者の理解が大きく、そのためにも“この業界には明るい未来がある”ということをアピールすることが重要である。i-constructionの推進など建設界が新しい技術をいち早く取り入れて見せる。今までの3kの改善というところも大切ではあるが、この業界には夢があると魅力を示すことが重要。

開催状況



H30年度 建設界の担い手確保・育成推進協議会【第二回石川県部会】 開催報告

- 12月17日、産学官が連携の「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【第2回石川県部会】」を開催し、現場見学会や就職説明会等の各機関による今年度の取り組みと現状の課題、さらにそれらを踏まえた今後の活動方針等に関して意見交換を行いました。
- 参加機関からは、「就職先が製造業に流れてしまった。」「離職防止には“やりがい”を実感してもらうことが重要である。」「生徒、教員には、建設業に携わるプライド、気概を持って就職してもらうよう指導している。今後とも互いに協力をお願いしたい。」といった様々な課題、意見が寄せられました。
- 事務局から、離職防止や入職促進のアイデアを就職して間もない若手職員から募る「アンケート調査」について提案し、石川県部会の取り組みとして実施することを確認しました。（1月中旬までに実施）

開催概要

【日 時】平成30年12月17日（月）10:00～11:45

【開催地】金沢河川国道事務所 会議室

【構成機関】

【行政】北陸地整建政部、金沢河川国道事務所、石川労働局、石川県土木部、石川県教育委員会

【建設産業】日建連北陸支部、石川県建設業協会、道建協北陸支部、建設コンサルタツ協会北陸支部、石川県測量設計業協会、石川県地質業協会

【教育】金沢大学、金沢工業大学、石川県立大学、石川高専、金沢市工高、石川県立羽咋工高、小松工高、翠星高校

会議の主な発言要旨

- ◆ 生徒、教員には、建設業に携わるプライド、気概を持って就職してもらうよう指導している。そういう気もなく、せっかく就職して育ててもらっても2～3年で離職してしまうようだと企業側にも大きな損失、迷惑を掛ける。
- ◆ 土木科の生徒が建設関係に就職してもらうため、今年から建設業協会の説明会に保護者も加えて案内した。来年からは1年生も対象として参加させる予定。
- ◆ 現場技術者に対して以前に行ったアンケートで「辞めたくなくなったことはあるか」との問いに“6割の人がある”と答えているが、「なぜ辞めずに残ったのか」というと“やりがいがある”と答えている。離職防止には、やりがいを実感してもらうことが重要である。

開催状況



平成30年度 建設界の担い手確保・ 育成に関する取り組みについて

【石川県部会】

平成30年 12月 17日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

[金沢河川国道事務所] インターンシップに来所

～ 2名の学生が国土交通省の業務・役割を体感 ～

期間 : 平成30年7月30日～8月10日

実習生: 金沢工業大学1名、石川高等専門学校1名 計2名

テーマ: 金沢河川国道事務所が所管する治水事業・道路事業について、調査・計画・施工・維持管理を体験し、仕事として携わるイメージを認識してもらう。



はじめは緊張感 MaX



河川水質調査



施工管理



手取川ダム 湖面巡視



砂防法面工事現場
立ち会い



様々なことを体験した
2週間



手取川ダム 一般見学者対応

〔金沢河川国道事務所〕 小松工業高校 現場見学会

実施 : 平成30年7月10日

対象 : 小松工業高等学校 建設科2年生 37名

【海岸保全事業】

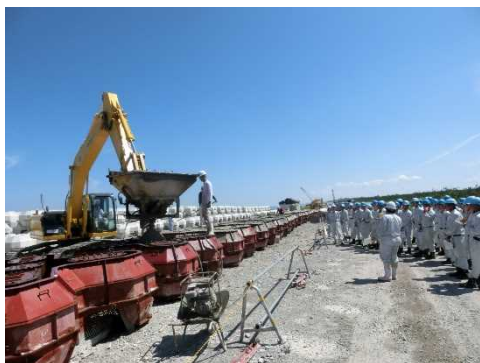
H29小松人工リーフブロック製作その2工事

◇重点説明項目【テーマ: コンクリートの施工管理】

- ・コンクリートの規格
- ・コンクリートの運搬～打設～養生 の留意点
- ・コンクリートの品質管理
受け入れ時の確認
強度確認 など

◇現場技術職員の業務紹介(今年度、小松工業高校を卒業した先輩から)

- ・現在携わっている仕事の内容
- ・実際に仕事をしてみて感じていること など



【道路改築事業】

H29・30加賀拡幅 湯の国橋上部工事

◇重点説明項目【テーマ: 鋼橋の施工、コンクリートの施工管理】

- ・鋼橋、コンクリート橋の特徴
- ・床板(鉄筋)コンクリートの規格と施工上の留意点 ※ブロック(無筋)との違い

◇現場技術職員の業務紹介(富山県出身の若手技術者から)

- ・現在携わっている仕事の内容
- ・実際に仕事をしてみて感じていること など



石川・富山の2箇所的大学生対象の現場見学会を実施

(一社)日本建設業連合会
北陸支部参考資料①

平成30年9月18日(火)、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学から23名、金沢工業大学から18名の参加を頂き、①石川県の金沢港「金沢港(南地区)岸壁(-7.5m)(改良)築造工事(その3)工事」(北陸地整)、②富山県国道41号線「片掛橋下部その2工事」(北陸地整)の現場見学会を開催しました。

今回の見学会は、**日建連による「担い手の確保・育成」活動の一環として、建設現場のやりがい・魅力の発信**、実際の作業環境を肌で感じ、**現場職員との会話を通じての建設現場で働くイメージの形成**を目的として開催しました。

港湾岸壁工事では巨大な作業台船による地盤改良工事と金沢港の岸壁が出来ていく様子を目の当たりにし、**大規模工事のスケール感を体感**でき、「**普段見れない段階の工事状況を見れて理解が深まった**」などの声がありました。

橋梁下部工工事では、これから始まるニューマチックケーソン工事の施工計画の説明を受けた後、河川区域に張り出した作業構台の上で工事進捗を確認し、現場職員への質問タイムの時間を設けたところ、参加学生からは、工法についての質問や、**普段の仕事についての質問を出していただき、活発なやり取りとなりました**。ケーソンを沈設するところも見たいとの声もあり、**現場は日々変わりゆくもの**だということをしっかり伝えることができ、**担い手確保に向けての良いPRの場**となりました。

現場見学会

①「金沢港(南地区)岸壁(-7.5m)(改良)築造工事(その3)工事」(北陸地整)



②富山県「片掛橋下部その2工事」(北陸地整)



工業系高校・大学・専門学生との現場見学会

(一社)石川県建設業協会

6月22日(金) 金沢市立工業高等学校	土木科	1年生	42名	能越道・金沢外環状道路
6月22日(金) 金沢市立工業高等学校	建築科	3年生	42名	金沢生コンクリート(株)・金沢市文化ホール他
7月 6日(金) 石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 建築コース	3年生	20名	金沢市城北市民運動公園・県央土木事務所
7月 6日(金) 石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 土木コース	3年生	13名	金沢外環状道路・湯の国橋
7月10日(火) 石川県立小松工業高等学校	建設科	1年生	44名	県央土木事務所・金沢外環状道路
7月17日(火) 石川県立翠星高等学校	総合グリーン科学科	3年生	20名	金沢外環状道路・県営ほ場整備野田地区
7月13日(金) 金沢工業大学	環境土木工学科	1年生～	21名	能越道

参加計 5校7学科 参加者数計 202名(赤字は主な見学先)



石川県立羽咋工業高等学校 建設造形科 土木コース



金沢工業大学 環境土木工学科



金沢市立工業高等学校 建築科

○現場見学会での生徒の感想

- ・現場見学会を通して土木の仕事に興味を持つことができました。
- ・女性でも働きやすい環境づくりが進んでいることを知りました。
- ・道路の重要性を改めて感じました。
- ・現場では多くの人達がそれぞれの役割を果たしていることがわかりました。

工業系高校との意見交換会

(一社) 石川県建設業協会

平成30年11月16日	金沢市立工業高等学校	建築科	2年	40名	
平成30年12月 7日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	1年	26名	
平成30年12月 7日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	2年	30名	
平成30年12月13日	金沢市立工業高等学校	土木科	2年	40名(予定)	
平成30年12月19日	石川県立小松工業高等学校	建設科	2年	40名(予定)	
平成31年3月(予定)	石川県立翠星高等学校	環境科学コース	2年	20名(予定)	

参加生徒計 約200名



意見交換会について

○工業高校との意見交換会は主に、前半は若手職員(同校OB等)が自身の1日・体験等をプレゼンまたは、ICTなどの最新技術の紹介・説明を 生徒に聞いてもらい、後半は協会会員企業所属の若手職員を中心としたグループ形式にて実施している。

○比較的年齢の近い、なおかつ同校のOBの職員との意見交換になると生徒も質問し易く、かつ生徒が自身の近い将来の姿を想像できるようになり、貴重な体験となっている。

【建コン協北陸支部の技術部会活動】

金沢大学で建設コンサルタントの仕事について説明しました！

日 時：平成 30 年 5 月 15 日（日）10：30～12:00

開催場所：金沢大学

説 明 者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部
技術部会

トンネル委員会 委員長 今度 充之

トンネル委員会 委 員 麻田 正弘

金沢大学 1 年生約 90 名を対象に初学者ゼミの一環として、建設コンサルタントの仕事について説明を行いました。

パワーポイントで説明した後、説明者が今まで係わった業務の体験談を紹介しました。

そして最後に、動画「教えて！ケンコンさん ～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を紹介しました。

4 月に入学したばかりの学生たちは、メモを取りながらとても熱心に聞いてくれました。後日頂いた感想文では、インフラの重要性、建設コンサルタントの仕事とやりがいについて分かってもらった印象を受けました。

多くの学生が建設コンサルタントを目指して学業に励んでくれることを期待しています。





【建コン協北陸支部の技術部会活動】

石川工業高等専門学校にて、建設コンサルタントの仕事について説明会を実施しました。

日時：平成 30 年 6 月 20 日(水)14:40～15:45

開催場所：石川工業高等専門学校

説明者：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 技術部会

道路委員会 委員 藤本勇一

道路委員会 委員 木下裕康

石川工業高等専門学校 環境都市工学科、専攻科の学生 44 名を対象に、建設コンサルタントの説明を行いました。

動画「教えて！建コンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」視聴のほか、建設コンサルタントの仕事をイメージしてもらえよう説明者の経験談、業務事例などを説明しました。

当日参加された学生のアンケートでは、「企画、計画、設計、施工管理の全ての段階に係わっていたので、建設コンサルタントの中でも色々な役割があって、自分の興味ある仕事も見つかりそうな気がした。」「技術者として、長年働けば働くほど技術が身につくとしり、頑張りがいがあると感じた。」等の回答があり、役割や仕事について理解頂きました。

動画についても「重要なことがわかりやすくコンパクトにまとめられて、建設コンサルタントについて大まかに理解できた。」等好評を得ており、みなさんホームページのトップページからご覧下さい。



石川県の工業系高等学校の生徒と意見交換会を実施

(一社)石川県測量設計業協会
参考資料①

平成30年7月24日(火)、高校生ものづくりコンテスト石川大会競技後の時間を利用して、参加した県内の工業系高等学校の生徒15名を対象に意見交換会を実施しました。意見交換会は、当協会の次世代研修委員が参加し、パワーポイントを使用して最新測量技術の紹介や昨年度実施した高校生への測量業に関するアンケート結果報告のほか、実際の測量作業や各企業の待遇、福利厚生等を説明しました。高校生からは、「**危険な場所での作業なのですか？**」、「**機械操作や計算などが難しいのでは？**」など、**測量業に就く際の実際に感じる不安などについての質問**がありました。

対面での意見交換後に生徒の中に入り、雑談形式で話をする事ができ、高校生の不安の解消と測量業をより詳しく知ってもらえることができたのではないかと思います。

最新測量技術紹介、アンケート結果



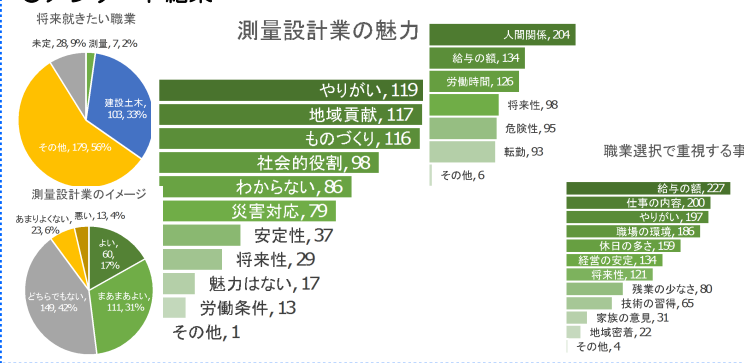
最新測量技術の紹介状況

○仕事内容や最新技術の紹介

- ・測量や設計の実作業の紹介
- ・災害復旧業務の紹介
- ・GNSS測量について
- ・無人航空機（UAV）を用いた測量について
- ・地上レーザースキャナーを用いた測量について



○アンケート結果



意見交換会



意見交換会の状況



意見交換会の状況

○意見交換会での主な発言

- ・計算が多そうだけど、どれくらいの頻度で計算しますか？
- ・難しそうなので、就職するとなったら不安です。
- ・給料の額、経営の安定、土日の休みなどは？
- ・労働時間はどれくらいですか？
- ・女性でもできる測量の仕事はありますか？
- ・土木系でも女性の就職先はありますか？

意見交換会では、様々な質問に対して参加したメンバーが実体験やそれぞれの企業での実情等も踏まえ、丁寧に回答しました。また、インターンシップや現場見学会等への参加も促進し、今後、ますます測量設計業に興味を持ってもらえるよう理解を深めてもらえることができました。

石の標本づくり in 白山手取川ジオパーク を開催

(一社)石川県地質調査業協会
参考資料①

地質を調査する仕事があるということを、一般の方々にも知って頂くために開催しました。そのため、まずは「石」にもいろいろな種類があることを知ってもらい、「石」に興味を持ってもらうことで、将来的には地学を勉強し**地質調査に関わる担い手を確保**しようと、平成30年10月20日(土)「白山手取川ジオパーク推進協議会」の共催、「金沢市教育委員会・北國新聞社・テレビ金沢」の後援、「金沢大学理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コース・石川県自然史センター・北陸地盤工学研究会」の協力を得て石の標本づくりを開催しました。

参加した子供達39名に**アンケート**を実施した結果、38名が「**楽しかった**」(97%)との回答があり、自由意見では「石を知ることができて良かった」、「いろいろな石を見つけられて楽しかった」、「転がっている石にも名前があることが分かってワクワクした」など、**興味をもってもらえた**のではないかと思います。

これからも継続して開催し、今後は能登地区でも開催できるよう検討していきます。



開催場所(手取川河川敷)



黄色Tシャツはスタッフ



ハンマーでの石割り体験



標本づくり状況



教授に質問



大理石に塩酸を

平成30年度 建設界の担い手確保・ 育成に関する取り組みについて

【石川県部会】

平成30年 12月 17日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

建設業における担い手確保に向けた取り組み

建設業の
担い手確保



将来の担い手
確保の支援

労働環境の改善

①学生(大学・高専・短大)向け

○インターンシップフェスへの建設業者参加呼びかけ

②高校生向け

○企業ガイダンスへの建設業者参加呼びかけ

○高校訪問による入職呼びかけ

○高校生現場見学会の開催

○他業種とのコラボ企画(パネルディスカッション)

③小・中学生、一般向け(PR)

○「はだしの王国」でのブース出展

○各土木事務所でのPR

○いしかわ土日おやすみモデル工事の導入

○快適トイレの導入

○ICT建設機械の活用推進

新規高卒者の建設業就業者数

卒業年(3月)	H28.3	H29.3	H30.3
就職年度(4月1日)	H28.4	H29.4	H30.4
A 卒業者数(全体)	10,203	10,550	10,357
A1 進学その他 (A1 / A)	7,951 77.9%	8,205 77.8%	8,157 78.8%
A2 就業者数(全体) (A2 / A)	2,252 22.1%	2,345 22.2%	2,200 21.2%
B 就業者数(建設業)	265	276	276
卒業者全体に占める割合(B / A)	2.6%	2.6%	2.7%
就業者全体に占める割合(B / A2)	11.8%	11.8%	12.5%
C 建設系卒業者 建設業就業者全体に占める割合(C / B)	74 27.9%	86 31.2%	84 30.4%
D 非建設系卒業者 建設業就業者全体に占める割合(D / B)	191 72.1%	190 68.8%	192 69.6%

約3分の2が非建設系高校
(普通科高校等)の卒業者



建設業への就業者を増やすため、
普通科高校への働きかけ
も重要

いしかわインターシップフェス

大学・高専・
短大学生向け

主に夏期休暇中に実施される

インターンシップに関する情報を企業から学生に直接説明



H30. 5. 12 産業展示館で開催
約230社参加(建設業20社)
学生約1,600名参加

高校生を対象とした企業ガイダンス

高校生向け

H30. 7. 7開催



- 建設業者：42社／246社（うち県建設業協会会員企業14社）
- H31. 3月卒業予定の**高校生約1,900名**が来場
（就職希望者の約8割強）
- 建設業者ブースには延べ**約260名**が参加

高校訪問による入職呼びかけ

高校生向け

今年度は、**県内全55校を対象に高校訪問**を実施

将来の進路を見据え、**普通科高校**においても**建設業の魅力を伝える**場として、
職業講話・意見交換会の開催を働きかけ

職業講話・意見交換会を開催 ※ H30.11月末現在

金沢二水高(6/20)／星稜高(6/25)／七尾高(7/31)／金沢伏見高(9/18)
金沢桜丘高(11/16)



七尾高校



金沢伏見高校



金沢桜丘高校

将来の担い手確保の支援

高校生向けの現場見学会

高校生向け



高校生インフラツーリズム

《能登コース》

- H30.8.7開催
- 29名参加
- 千里浜再生プロジェクト外、
のと里山海道、
輪島道路 など

《加賀コース》

- H30.8.10開催
- 10名参加
- 金沢港、
一般国道304号
(清水谷バイパス) など

高校独自で見学会を実施

金沢伏見高校



H30.9.25
11名参加

寺井高校



H30.9.27
4クラス
175名参加

パネルディスカッション【他業種とのコラボ企画】

高校生向け



他の業種とのコラボにより
建設業が持つ魅力を
効果的に高校生に伝える

＜金沢北陵高校＞

- ・ H30. 11. 14
- ・ 2年生188名参加

＜金沢商業高校＞

- ・ H30. 12. 7
- ・ 2年生280名参加

～生徒の声～

- ・ 建設業のイメージが変わった。
- ・ 建設業への興味が少し深まった。



「はだしの王国」イベントブース出展（4回目）

親子向け

親子向け土木ブース

「目指せ！土木・建築エンジニア」を開設

H30. 10. 8 奥卯辰山健民公園で開催

測量・重機操縦体験、クイズラリー 等

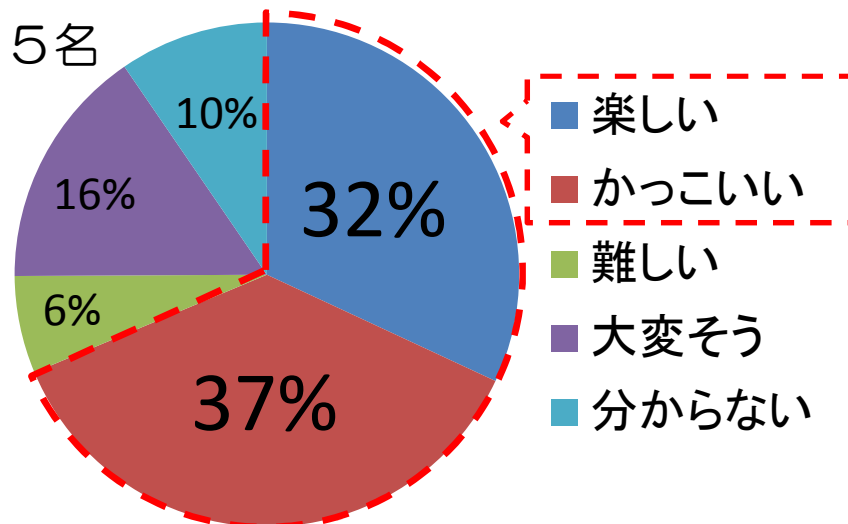
児童・保護者約650名参加

アンケート結果

Q. 「土木・建築」についてどう思うか

結果：約7割が好意的な回答

【子供】 335名



将来の担い手確保の支援

「はだしの王国」での土木・建築イベントブースの出展

一般向け



重機でボールすくい



土木・建築クイズ



土木実験



ラジコン除雪体験



重機搭乗体験

労働環境の改善

建設業では担い手不足が大きな課題であり、若者に「働く魅力が感じられる職場づくり」が重要
確実な休日の取得など労働環境の改善が必要

〈これまでの取組〉

H27年度から「いしかわ土日おやすみモデル工事」を実施

H27：14件、H28：34件、H29：42件 工種・規模を順次拡大

◆H29休日取得率 **100%**（代休含む） **9割超** が良いと回答

〈H30主な取組〉

① 取組機会の拡大

- ・発注者指定型工事の拡大 100件程度 ※6千万円以上は原則実施（適用困難工事除く）
- ・新たに施工者希望型工事を導入 40件程度
- ・受注者から希望があり週休二日の確保が可能な工事

② 適正な工期設定

- ・週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇を確保した工期を設定

③ 工事成績での加点

- ・週休2日を達成した場合は、工事成績評定で加点

④ 費用の増額

- ・共通仮設費・現場管理費の割増に加え、新たに労務費・機械経費を割増

労働環境の改善

若者や女性など多様な人材の入職を促進するには、
建設現場を男女ともに働きやすい環境とすることが必要

H29. 7月から男女共に快適に使用できる仮設トイレ

「快適トイレ」

を導入

これまでの実績

設置件数 43件

(H29年度実績)

快適トイレのイメージ



快適トイレの主な仕様

- 洋式便座
- 水洗式
- ニオイ逆流防止装置
- 施錠機能
- 照明器具
- 衣類掛けフック 等

対象工事：・ 3千万円以上の工事は原則実施
・ 3千万円未満の工事は受注者からの希望により実施

担い手の確保・育成をテーマとした 若手職員へのアンケート結果

担い手の確保・育成をテーマとした 若手職員へのアンケートの実施について〔報告〕

建設界の担い手確保・育成協議会〔石川県部会〕

■ 目的・狙い

各機関が連携して様々な取り組みを行っているが、実際に就職して間もない若い世代の意見やアイデアを聞くことで、課題を把握し今後の取り組みへの参考とする。

■ 対象

30歳程度までの若い世代を対象

■ 時期

12月末から1月上旬に配付し1月20日(日)までに投函するとして依頼

■ 方法

アンケート用紙と返信用封筒同封のセットを事務局が用意して各協会等に渡し、協会から各社に依頼。所属会社のトップの方の了解を得て、会社から本人に直接配付。

無記名で記入のうえ、返信用封筒（切手貼付済み）にて返送してもらう。

■ 依頼人数（案）

・（一社）石川県建設業協会	20人	
・（一社）日本道路建設業協会	5人	
・（一社）建設コンサルタンツ協会	10人	
・（一社）石川県測量設計業協会	10人	
・（一社）石川県地質調査業協会	5人	
・金沢河川国道事務所	14人	全体で 64人に依頼

※1/31 現在 59人から回答あり

[趣旨]

建設産業は、頻発・激甚化する自然災害に対する地域の安全・安心の確保や地域経済の発展のため、たいへん重要な役割を果たしています。

一方、少子高齢化の進展により労働生産人口が減少する中、建設界においても「担い手の確保・育成」が大きな課題となっています。土木・建築を主とした建設業はもとより、測量や調査・設計、建設資材、そして公共事業を担う官公庁等も含め、建設に関連する分野のいずれかひとつでも衰退してしまうと、地域の将来の維持発展に大きな支障が生じます。

そこで、建設界に若い方々がやりがいや希望をもって入職し、将来にわたって働き続けてもらえるように環境を整えるなど、課題解決に向けて建設関係団体、学校教育機関、行政機関が連携して取り組みを進めているところです。

I-Constructionの推進による一層の生産性向上や、週休2日の普及促進、現場の快適化などに取り組んでいるところですが、建設界の将来の担い手である若い世代の皆さんから、率直な意見やアイデアを募集し、現状の課題について認識を新たにするとともに、今後の取り組みにつなげたいと考えています。

一緒に働く多くの仲間・後輩を迎えるため、皆さんから意見・アイデアをお聞かせ頂きたく、ご協力お願いします。

[アンケートの方法等]

- ・ アンケートは無記名とします。年齢や性別、所属の会社名等も不要です。
- ・ 記入していただいた回答用紙を同封の返信用封筒にて郵送してください。（封筒の送り主も無記名で結構です）
- ・ 平成31年1月20日(日)までに投函してください。
- ・ 手書きでの記入ではなく、ワープロソフトで書き込みたいと希望される方は、「国土交通省金沢河川国道事務所」のホームページに掲載の『トピックス 2018年12月21日・担い手アンケートのお知らせ』から Microsoft Word のファイルをダウンロードすることができます。これに記入後、プリントアウトしたものを返信用封筒にて郵送してください。

[連絡・問い合わせ先]

（北陸建設界の担い手確保・育成協議会石川県部会事務局）
国土交通省 金沢河川国道事務所 品質確保課

◇あなたのプロフィールをお聞かせください。

■ 設問1 働き始めてから何年目ですか。 ※電子版は口をクリック

- ☐ 2年未満
- ☐ 2～5年未満
- ☐ 5年以上

■ 設問2 現在従事している業種をお聞かせください。 ※電子版は口をクリック

- ☐ 建設業（土木工事業）
- ☐ 建設業（建築工事業）
- ☐ 建設業（専門工事業）
- ☐ 測量業（測量会社、建設コンサルタント測量部門）
- ☐ 地質調査業（地質調査会社、建設コンサルタント地質調査部門）
- ☐ 建設コンサルタント（調査・計画・設計・環境部門）
- ☐ 用地・補償調査業
- ☐ 官公庁職員（国、県、市など）

◇担い手を確保・育成するため、あなたの意見・アイデアをお聞かせください。

■ 設問3 建設界に就職した若い人たちが離職してしまうことがあると聞きます。

若い人たちが「現在の仕事を続けたくない」「転職したい」という気持ちになる主な理由は何だと思われますか。離職したいと思う若い人たちをどうすれば少なくともできると思われますか。

■ 設問4 工業系の大学・高校の学生が建設界に不安無く希望を持って就職してもらうため、どのような情報やイベント、機会があるとよいと思われますか。

■ 設問5 将来、工業系の大学・高校への入学を目指してもらうため、普通高校や中学校の生徒、その保護者へのアプローチも重要と言われていますが、具体的にどのような説明、イベントを行うと効果があると思われますか。

■ 設問6 その他、意見、アイデアがありましたらご自由に記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

若手職員アンケート結果 [主な意見等]

(R1.7.17)

担い手協議会[石川県部会]

3-① 建設界に就職した若い人たちが離職してしまうことがあると聞きます。
若い人たちが離職したい気持ちになる主な理由は何だと思われますか。

- ・ 拘束時間が多い。給料はそこそこでよいので自分の時間を大事にしたいという考えから。
- ・ 土日祝日の出勤が多く、残業時間が多い割には給料が少ない。
- ・ 現場があると、有給休暇を気軽に取得できず、休みたい日に休むことができない。
- ・ 屋外での過酷な労働環境。つらいのは夏の暑さと冬の寒さ。
- ・ 建設界への理解が浅いまま就職し、自分のイメージと現実のギャップにより離職を考えてしまう。
- ・ 施工管理業務の複雑化や帳票類の複雑さにより、若手が育ちにくく、業務の面白さを覚える前に離職することが多い。
- ・ グチを言い合える同年代がいない。先輩、上司等とのコミュニケーション不足によって仕事がやりづらくなってしまう。
- ・ 若い人は友達と接する機会も多く、他業種の話を知るとどうしても建設業のデメリットが目立つ。
- ・ 労働時間が曖昧である。

3-② 若い人たちの離職をどうすれば少なくできると思いますか。

- ・ 労働環境、職場環境の改善が必要。
- ・ 残業をなくすことはできないかもしれないが、減らすことはできると思うので、週1回は必ず、残業せずに帰宅することを徹底する。
- ・ やりがいを育む。土木の魅力を感じながら仕事ができると良い。
- ・ 研修等に入社した1, 2年で参加し、知識や情報を増やす。
- ・ インターンシップを積極的に行う。
- ・ 学生には良いところだけでなく、大変なこと、苦労していることなども予め話すべき。
- ・ 就職を決める時期に、自分にあった職業を選択できるような教育システムの構築とともに、教育現場と企業が連携できる体制づくりが必要である。
- ・ 若い人たちが中心となり、工業系の学校へ自分たちの仕事のPRや、意見交換会を行うことで、自分たちの仕事を見つめ直す機会を与える。
- ・ 労働時間を明確にする。



(寄せられた意見・提案を踏まえて) 取り組むべき課題、検討事項等

- ・ 週休二日制の導入、普及促進。
 - ・ ウイークリースタンス(金曜日に依頼しない。月曜日を期限としない。水曜日は定時帰宅)の徹底。
 - ・ 発注と履行期限の平準化。さらなる生産性の向上。
 - ・ 現場環境の改善、装備品の充実(防寒対策、熱中症対策など)
 - ・ 学生への説明会やインターンシップの工夫。
 - ・ 建設界の「やりがい」「魅力」のPR。
- など

4 工業系大学・高校の学生が建設界に不安無く希望を持って就職するために、どのような情報やイベント、機会があるとよいと思いますか。

- ・ 建設業界で働く若い労働者や女性技術者との交流会があれとよい。
- ・ 実際に何をしているかイメージできるよう見学会や体験（インターンシップ）などを積極的に行うと良い。
- ・ 働いて1～3年くらいの若手から、働くことに対する率直な意見を聞くことができる場があると良い。
- ・ 現場体験では「見るだけや触るだけ」ではなく実際に形に残る作業に関わる機会があると愛着が湧き、業界への興味を持つと思う。
- ・ 建設業界の間違ったイメージを払拭するため、UAVやレーザースキャナといった最新技術を使い安心・安全な地域住民の生活を守る大切な仕事だと改めて知ってもらう。また、週休2日の普及や女性でも働けるような環境づくりを行っている事を説明する機会を設ける。
- ・ 例えば、高卒で、何歳で役職について給与を幾らもらっているかという情報を開示する。
- ・ 一番つらい時の仕事状況を就職前に見せるイベント・機会があるとよい。（理想と現実とのギャップを埋めるために）
- ・ 入社2～5年目の人たちとの交流会。



（寄せられた意見・提案を踏まえて） 取り組むべき課題、検討事項等

- ・ 職場体験の積極的な受け入れ。
 - ・ 見学会や説明会等の開催における内容の充実、工夫。
 - 建設界の必要性、重要性、魅力をPRする。
 - 若手職員による説明、意見交換。
 - 「きれい事」だけではなく、厳しい面も含めて実情を正直に示すことも重要。
- など

5 将来、工業系の大学・高校への入学を目指してもらうため、普通高校や中学校の生徒、その保護者へのアプローチも重要と言われていますが、具体的にどのような説明、イベントを行うと効果があると思いますか。

- ・ 工業系の学校を卒業することで、将来どのような就職先があるのか説明する。
- ・ 保護者・学生を交え、現場視察、現場体験、意見交換を開催し、建設業の魅力を伝える。
- ・ 保護者への説明については、社会に必要な業界で先行きのある業界であることの発信、3Kの改善に対する取り組み（労働条件・環境）への理解、女性技術者の活躍などの説明を行うことが効果的と考える。
- ・ 昔の建設業のイメージを持っている人が多いため、そのイメージを変えてもらえるような説明や、ICT施工やドローンなどを使っているという情報の発信が必要。
- ・ VRによる重機操縦体験や建設体験、Minecraftやシムシティ等を利用したゲームによるまちづくり等の体験など。
- ・ 土木、工業系の学部・学科への授業料の優遇。
- ・ 工業系の大学、高校のOB／OGによる説明会（20代～30代）。
 - 工業系の学校を出身された方がスマートな印象であれば、子供や親が良い方向に変化。



（寄せられた意見・提案を踏まえて） 取り組むべき課題、検討事項等

- ・ 従来の建設現場の3K（きつい、きたない、危険）のイメージを払拭するような見学会、説明会を行う。
 - そのためにも現場の安全管理の一層の徹底を図り、工事事務・労働災害の撲滅に取り組むことが重要。
- ・ ICT施工やドローン等の新技術の活用を紹介し、生産性向上の取り組みについて興味関心を寄せてもらう。
- ・ 土木、工業系の学部・学科を志望する学生への奨学金や学費の補助制度の紹介。
 - 有無について確認する。

6 その他意見・アイデア

- ・ 担い手の確保・育成は、どの業界でも発展や進歩に向けた重要な課題であり、取り組みを「継続」することが最も重要と考える。
- ・ 工業系の大学、高校等の卒業生で建設業界に入らなかった人から理由を聞き、入らなかった原因を無くすことも一つの手ではないか。
- ・ 仕事は自分が好きだと思えるものでないと続かない。“土木”の魅力を伝えることが一番重要だと考える。
- ・ 荒天時の現場対応など、目に見えない残業や拘束時間がある。ウェブカメラによる現場点検などが実施できるようになれば、労働条件の向上に繋がると考える。
- ・ 人材確保のためにイメージを操作することは止めるべき。(月30時間程度の残業があります、有休も100%自由に取れるわけではありません、土日仕事の時があります・・・など正直に)
- ・ 一般の人への建設業のアピールが重要。自衛隊、消防、警察の方がよっぽどアピールが上手。
- ・ 一般的に建設業界は悪いイメージがある分野だと思う。ドラマだとだいたい悪役。イケメン俳優と美人女優による、土木現場を舞台にした夢と希望あふれるドラマなどつくってもらえれば、イメージが変わったりしないか。

※アンケート概要

時 期 平成30年12月～平成31年1月

依頼先 (一社)石川県建設業協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会、
(一社)石川県測量設計業協会、(一社)石川県地質調査業協会、金沢河川国道事務所
計64人に依頼

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【金沢河川国道事務所】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	建設系の高校	羽咋工業高校	R1	7月5日	加賀市	15	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 工事品質管理官	加賀拡幅	(一社)石川県建設業協会
2 現場見学	建設系の高校	小松工業高校(2年生)	R1	7月9日	小松市	40	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 工事品質管理官	梯川金屋河道掘削工事、梯川金屋低水護岸工事	なし
3 現場見学	建設系の高校	小松工業高校(1年生)	R1	7月9日	金沢市	40	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 工事品質管理官	月浦トンネル工事	(一社)石川県建設業協会
4 現場見学	建設系の高校	翠星高校	R1	7月16日	小松市	30	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 工事品質管理官	梯川金屋河道掘削工事、梯川金屋低水護岸工事	(一社)石川県建設業協会
5 現場見学	小学校	輪島市大屋小学校(6年生)	R1	6月17日	輪島市	21	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 辻森建設専門官	H29・30能越道 小泉高架橋上部工事 橋面上に登ってもらい、将来の夢などの絵や文字を描いてもらった。	輪島市能越道建設推進室
6 現場見学	建設系の高校	金沢市立工業(1年生)	R1	7月10日	輪島市	40	金沢河川国道事務所	金沢河川国道事務所 辻森建設専門官	H30能越道 洲衛高架橋下部その3工事 輪島道路における、ICT施工の事例紹介	(一社)石川県建設業協会
7 インターンシップ	大学	金沢工業大学 石川工業高等専門学校	R1	7月30日～ 8月10日	金沢市	2	金沢河川国道事務所		令和元年度自習生として道路系1名、河川系1名の学生の夏期実習を実施。	金沢工業大学 石川工業高等専門学校

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【（一社）日本建設業連合会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	大学	金沢大学学部生1年	R1	7月22日	金沢市と小松市	35	(一社)日本建設業連合会	北陸支部事務局 025-285-8886	石川県の金沢市の山側環状道路の道路工事工事(トンネル工事)と小松市の北陸新幹線敦賀延伸工事の橋りょう工事・高架化工事の2現場を見学	会員企業

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【（一社）石川県建設業協会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	建設系の高校	金沢市立工業高校	R1	6月27日	金沢市	44	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建築科3年生 ・金沢生コンクリート(株)、金沢港クルーズターミナル、東京国立近代美術館工芸館	
2 現場見学	建設系の高校	石川県立羽咋工業高校	R1	7月5日	金沢市	17	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建築造形科(建築コース3年生) ・鼠多門、金沢港クルーズターミナル	
3 現場見学	建設系の高校	石川県立羽咋工業高校	R1	7月5日	加賀市	18	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建築造形科(土木コース3年生) ・2級河川犀川、金沢港クルーズターミナル	
4 現場見学	建設系の高校	石川県立小松工業高校	R1	7月9日	金沢市 小松市	44	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建設科1年生 ・小松駅新幹線工事、小松大学、月浦トンネル工事	
5 現場見学	建設系の高校	金沢市立工業高校	R1	7月10日	金沢市 輪島市	44	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○土木科1年生 ・大浦千木町線道路築造工事、能越道	
6 現場見学	建設系の高校	石川県立翠星高校	R1	7月16日	白山市 小松市	24	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○総合グリーン科学科(環境設計分野3年生) ・県営ほ場整備、H30梯川金屋	
7 現場見学	大学	金沢工業大学	R1	R1. 9月 (予定)	金沢市 輪島市	22	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○環境土木工学科 ・清水谷バイパス、能越道	
8 現場見学	工業高等専門学校	国立石川工業高等専門学校	R1	未定	金沢市	未定	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建築学科 ・東京国立近代美術館工芸館	
9 現場見学	工業高等専門学校	国立石川工業高等専門学校	R1	未定	未定	未定	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○環境都市工学科 ・未定	
10 講演・講習	建設系の高校	金沢市立工業高校	R1	R2. 2月 (予定)	金沢市		(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	建設企業就職内定の学生を対象に情報共有システムの実機体験講習会を実施(予定)	㈱アイサス
11 講演・講習	建設系の高校	石川県立小松工業高校	R1	R2. 2月 (予定)	小松市		(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	建設企業就職内定の学生を対象に情報共有システムの実機体験講習会を実施(予定)	㈱アイサス
12 インターンシップ	建設系の高校	金沢市立工業高校	R1	7月22日 ～ 7月26日	金沢市	6	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○建築科2年生 地元建設会社 3社	会員企業(建設業協会)
13 インターンシップ	建設系の高校	金沢市立工業高校	R1	8月19日 ～ 8月22日	金沢市	6	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○土木科2年生 地元建設会社 3社	会員企業(建設業協会)
14 インターンシップ	建設系の高校	石川県立翠星高校	R1	9月25日 ～ 9月27日	白山市 野々市市	未定	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	○総合グリーン科学科2年生 地元建設会社	会員企業(建設業協会)
15 インターンシップ	建設系の高校	石川県立小松工業高校	R1	R1. 10月 (予定)	小松市 加賀市	40	(一社)石川県建設業協会	(一社)小松能美建設業協会 (一社)加賀建設業協会	○建設科2年生 地元建設会社	会員企業(建設業協会)

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【（一社）石川県建設業協会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
16 インターンシップ	建設系の高校	石川県立羽咋工業高校	R1	R1. 10月 (予定)	羽咋郡市 七尾鹿島 河北郡市	未定	(一社)石川県建設業協会	(一社)羽咋郡市建設業協会 (一社)七尾鹿島建設業協会 河北郡市土建協同組合	○建築造形科2年生(建築コース) 地元建設会社	会員企業(建設業協会)
17 インターンシップ	建設系の高校	石川県立羽咋工業高校	R1	R1. 10月 (予定)	羽咋郡市 七尾鹿島 河北郡市	未定	(一社)石川県建設業協会	(一社)羽咋郡市建設業協会 (一社)七尾鹿島建設業協会 河北郡市土建協同組合	○建築造形科2年生(土木コース) 地元建設会社	会員企業(建設業協会)
18 その他	一般県民	けんせつ1番星	R1	H31. 4月 ～ R2. 3月	石川県全域	多数	(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	ラジオ番組(FM放送)で、建設業界で働く若者に建設業界の魅力についてインタビュー方式でお話を伺い、広く一般の方にPR	FM石川
19 その他	親子	「歩いてみようのと里山海道」	R1	R1. 5. 12	内灘町	500	(一社)石川県舗装業協会 石川県アスファルト合材協会 (一社)石川県交通安全施設業協会 (一社)石川県測量設計業協会	(一社)石川県建設業協会	内灘町主催の「世界の風の祭典」にあわせ、隣接する「のと里山海道」を通行止めにし、自動車専用道路上にて、来場した親子に重機の試乗体験等を行い建設業PR	(一社)石川県建設業協会
20 その他	親子	けんせつフェア重Kids	R1	R1. 7. 28	珠洲市	1000	(一社)珠洲建設業協会	(一社)珠洲建設業協会	・建設機械への乗車体験 ・建設〇×クイズ ・ミニドローン操縦体験など	・重機提供企業 ・石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会
21 その他	親子	「はだしの王国2019」	R1	R1. 10月 (予定)	金沢市		奥卯辰山健民公園	石川県土木部監理課 (一社)石川県建設業協会	いしかわこども未来キャンペーン「はだしの王国」にて土木に関する体験型イベントのブースを設け、来場した親子に土木の魅力をPR	石川県土木部監理課 (一社)石川県建設業協会
22 その他	建設系の高校	富士教育訓練センター派遣事業	R1	R2. 2月 (予定)	静岡県 富士宮市		(一社)石川県建設業協会	(一社)石川県建設業協会	県内建設企業に内定した生徒を対象に、富士教育訓練センターに派遣し、資格取得支援を行う	富士教育訓練センター
23 その他	建設系の高校 建設系以外の高校	高校生を対象とした企業ガイダンス	R1	7月13日	金沢市		石川県商工労働部 石川県教育委員会	石川県商工労働部 石川県教育委員会	ブースを設置し、来場者に建設業PR 各企業ブースでは、各企業ごとに企業PR	(一社)石川県建設業協会
24 その他	大学 一般県民	企業ガイダンス	R1	7月20日	金沢市		石川労働局	石川労働局	合同面接会にブースを設置し、来場者に建設業PR	(一社)石川県建設業協会
25 その他	建設系の高校	金沢市立工業高校 建築科生徒との意見交換会	R1	未定	金沢市		(一社)金沢建設業協会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会
26 その他	建設系の高校	金沢市立工業高校 土木科生徒との意見交換会	R1	未定	金沢市		(一社)金沢建設業協会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会
27 その他	建設系の高校	石川県立小松工業高校 建設科生徒との意見交換会	R1	未定	小松市		(一社)小松能美建設業協会 (一社)加賀建設業協会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会
28 その他	建設系の高校	石川県立羽咋工業高校 建設造形科生徒との意見交換会	R1	未定	羽咋市		(一社)石川県建設業協会 (一社)羽咋郡市建設業協会 (一社)七尾鹿島建設業協会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会
29 その他	建設系の高校	石川県立翠星高校 パネルディスカッション	R1	6月25日	白山市		(一社)石川県建設業協会 建設青年委員会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会
30 その他	建設系の高校	石川県立翠星高校 総合グリーン科生徒との意見交換会	R1	未定	白山市		(一社)白山野々市建設業協会	(一社)石川県建設業協会	意見交換会を通じて、建設業の役割や魅力をPRし、入職促進	(一社)石川県建設業協会

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【（一社）建設コンサルタンツ協会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 その他	大学	金沢大学	R1	5月21日	金沢市	90	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	技術部会担当委員	建設コンサルタンツPR冊子「KenCon PRIDE」の配布及び業務内容の 説明	
2 その他	大学	金沢工業大学	R1	6月6日	野々市市	80	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	技術部会担当委員	建設コンサルタンツPR冊子「KenCon PRIDE」の配布及び業務内容の 説明	
3 その他	大学	石川県立大学	R1	10月7日	野々市市	50	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	技術部会担当委員	建設コンサルタンツPR冊子「KenCon PRIDE」の配布及び業務内容の 説明	
4 その他	工業高等専門学校	石川工業高等専門学校	R1	未定(10月～ 12月頃)	津幡町		(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	技術部会担当委員	建設コンサルタンツPR冊子「KenCon PRIDE」の配布及び業務内容の 説明	

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【(一社)石川県測量設計業協会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 出前講座	中学校	宝達中学校	R1	7月5日	宝達志水町	90名	(一社)石川県測量設計業協会	協会事務局	「測量教室体験学習」として中学1年生を対象に「経緯度と日本の測量」の授業、[体験学習]で歩測から校舎の高さを求める体験学習、ドローンによる記念撮影も行う。	
2 その他	建設系の高校	小松工業高校、金沢市立工業高校、羽咋工業高校	R1	7月23日	金沢市		(一社)石川県測量設計業協会		県内3工業高校の測量競技会参加者等に対して測量設計業の仕事・最新測量機器等をPRして、意見交換	
3 その他	建設系以外の高校	県内各高校(建設系高校及び普通高校)対象	R1	8月2日	輪島市		(一社)石川県測量設計業協会		高校生インフラツーリズム＜能登コース＞ ・「公共工事」を知る！&測量機器体験	石川県土木部
4 その他	建設系以外の高校	県内各高校(建設系高校及び普通高校)対象	R1	8月8日	金沢市		(一社)石川県測量設計業協会		高校生インフラツーリズム＜加賀コース＞ ・「公共工事」を知る！&測量機器体験	石川県土木部
5 その他	一般県民	一般県民	R1	5月12日	内灘町		(一社)石川県測量設計業協会		「歩いてみよう！のと里山海道」として、内灘町の「世界の風の祭典」に併せて通行止めする自動車専用道路の一部区間を活用して、ウォーキングや工事車両の乗車体験、測量体験等ができるイベントを開催 建設業をアピール	石川県、(一社)石川県舗装業協会、(一社)石川県交通安全施設業協会

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【（一社）石川県地質調査業協会】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 その他	親子	小学4年生～高校3年生の親子	R1	5月11日	白山市	40	(一社)石川県地質調査業協会	協会事務局	地質の日(5月10日)に合わせて実施する石の標本づくりイベントである。ジオパークというフィールドを活用し、次世代を担う子供達に対して、身近な自然に触れながら自然科学への興味につなげてもらうことを目指している。	白山手取川ジオパーク推進協議会 金沢大学地球惑星科学コース
2 講演・講習	大学	金沢大学地球惑星科学コース	R1	6月10日	金沢市	80	(一社)石川県地質調査業協会	協会事務局	地質調査業の魅力を伝えるセミナー	
3 その他	親子	小学4年生～高校3年生の親子	R1	未定(10月頃)	白山市	80	(一社)石川県地質調査業協会	協会事務局	小学生を対象に石の標本づくりを通して、身近な石(岩石)に興味を持ってもらう。標本づくりは、手取川河川敷の石を岩種毎に区分し、該当の石(岩)を収集予定。	白山手取川ジオパーク推進協議会 金沢大学地球惑星科学コース
4 講演・講習	大学	金沢大学地球惑星科学コース	R1	未定(12月頃)	金沢市	50	(一社)石川県地質調査業協会	協会事務局	【就活セミナー】地質調査業について	
5 インターンシップ	大学		R1	随時	石川県全域		(一社)石川県地質調査業協会 会員企業	協会事務局	就業体験学習	
6 講演・講習	建設系の高校	高校2年生	R1	未定(2月頃)	石川県全域		(一社)石川県地質調査業協会	協会事務局	地質調査業の魅力を伝えるセミナー	

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【金沢大学】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	大学	金沢大学理工学域地球社会 基盤学類2年生	R1	7月22日	金沢市	35	日建連, 金沢大学	金沢大学理工研究域地球 社会基盤学系・大橋政 司, 深田幸史	月浦トンネル及び梯川橋建設現場見学	日建連(担当:清水建設 小川晃市様)
2 現場見学	大学	金沢大学理工学域地球社会 基盤学類2年生	R1	7月22日	金沢市	34	金沢港湾・空港整備事務所, 金 沢大学	金沢大学理工研究域地球 社会基盤学系・久保善 司, 深田幸史	金沢港見学および金沢港湾・空港整備事務所にて意見交換	金沢港湾・空港整備事務 所(担当:副所長関口忠 志様)
3 現場見学	大学	金沢大学理工学域地球社会 基盤学類2年生	R1	7月22日	志賀町	34	北陸電力, 金沢大学	金沢大学理工研究域地球 社会基盤学系・由比政年	志賀原子力発電所見学	北陸電力

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【金沢工業大学】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	大学	金沢工業大学	R1	6月4日	金沢市	90	北陸地方整備局	金沢河川国道事務所	環境土木工学科3年生が山側環状で施工中の月浦トンネルII期線を見学。各種情報を3次元モデルで一元管理するCIMを体験。	
2 現場見学	大学	金沢工業大学	R1	未定(9月頃)	金沢市	20	(一社)石川県建設業協会		CIMおよびICT施工等を見学する予定。	
3 その他	大学	金沢工業大学	R1	未定(2年2月頃)	野々市市	120	金沢工業大学		建設業界セミナーを開催する。官庁、ゼネコン、コンサルタント、施設管理会社等が参加予定。	
4 インターンシップ	大学	金沢工業大学	R1	随時		-	KITインターンシップ参加企業等	金沢工業大学進路開発センター	5日以上のインターンシップ参加と事前・事後講習を組み合わせるインターンシップを単位化した。	
5 講演・講習	大学	金沢工業大学	R1	随時	野々市市	100	金沢工業大学		進路セミナーⅠⅡ、地域政策学ⅠⅡ、空間情報工学など多くの科目で官庁および企業より建設業界の説明を受けている。	

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【小松工業高等学校】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	5月21日	小松市	40	吉光組	吉光組	梯川 荒木田 工事現場見学（建設科2年生）	国土交通省
2 意見交換会	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	7月4日	小松市	40	小松能美建設業協会 加賀建設業協会		小松能美建設業協会による(建設科1年生)	
3 現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	7月9日	小松市・加賀市	40	金沢河川国道事務所 小松出張所		梯川金屋2工事現場見学（建設科2年生）	
4 現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	7月9日	福井 小松市	37	小松能美建築士会		重要文化財「中村家住宅」主屋 保存修理工事 公立小松大学末広キャンパス校舎整備工事 現場見学（建設科3年）	
5 現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	7月9日	金沢市	40	(一社)石川県建設業協会		公立小松大学末広キャンパス校舎整備工事 小松駅 新幹線工事 金沢東環 月浦トンネル工事 施工現場を見学(建設科1年生)	石川県土木部 国土交通省
6 一般見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	10月3日	富山	40	金沢河川国道事務所	北陸地方整備局企画部 建設専門官 酒向 秀典	けんせつフェア北陸 in 富山 2019(建設科1年)	
7 インターンシップ	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	10/23-25	小松市 加賀市	40	小松工業高等学校		小松能美建設業協会・加賀建設業協会の紹介による（建設科2年生）	石川県建設業協会
8 意見交換会	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	12月17日	小松市	40	石川県建設業協会		小松能美建設業協会・加賀建設業協会による（建設科2年生）	小松能美建設業協会 加賀建設業協会
9 現場見学	建設系の高校	小松工業高等学校	R1	未定(2月ごろ)	未定	40	南加賀土木事務所		建設科1年対象	

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【翠星高等学校】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 出前講座	建設系以外の高校	翠星高校1年生	R1	6月25日	白山市	160	県土木部監理課	翠星高校・根石	建設業及び介護・福祉業界よりそれぞれ2名のゲストを迎えて、パネルディスカッションを行った。具体的な専門科目選択前の、意識付けとして。	県土木部監理課など
2 現場見学	建設系の高校	翠星高校3年生	R1	7月16日	白山市	21	石川県建設業協会	翠星高校・根石	建設業の現場を直接見学することで、就職目の生徒に対して明確な意識付けを行う。	石川県建設業協会
3 現場見学	建設系の高校	翠星高校2年生	R1	9月6日	白山市	28	竹腰永井建設、翠星高校共催	翠星高校・根石	建設業の現場を直接見学することで、来年の就職に対して意識付けを行う。	
4 インターンシップ	建設系の高校	翠星高校2年生	R1	9/25-27	白山市、野々 市市、金沢市 など	28	翠星高校	翠星高校・根石	建設業の現場で就業体験をすることで、来年の就職に対して意識付けを行う。	石川県建設業協会 測量設計業協会 県森林組合連合会など
5 現場見学	建設系の高校	翠星高校2年生	R1	12月	白山市	28	翠星高校	翠星高校・市村	建設業の現場を直接見学することで、来年の就職に対して意識付けを行う。	県農林事務所
6 講演・講習	建設系の高校	翠星高校2年生	R2	2月	白山市	28	白山野々市建設業協会	翠星高校・根石	建設業の現場で実際に働く方から話を聞くことで、建設業に対する理解を深め、来年の就職に対して意識付けを行う。	白山野々市建設業協会

令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み（令和元年4月～2年3月の活動予定及び実績記入表）

【石川県】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
1 出前講座	建設系以外の高校	県内高校生	R1	学校の希望に 応じ随時	石川県全域		石川県	土木部監理課	県内建設業者による建設業の紹介	(一社)石川県建設業協会
2 出前講座	建設系以外の高校	県内高校生	R1	学校の希望に 応じ随時	石川県全域		石川県	土木部監理課	石川県庁職員による石川県の土木行政の紹介	
3 現場見学会	建設系以外の高校	県内高校生のうち参加希望者	R1	8月2日	能登方面		石川県	土木部監理課	急傾斜地崩壊対策工事現場・輪島道路建設現場の見学、測量機器体験	(一社)石川県測量設計業協会 金沢河川国道事務所 など
4 現場見学会	建設系以外の高校	県内高校生のうち参加希望者	R1	8月8日	金沢市		石川県	土木部監理課	金沢城鼠多門復元整備工事現場・東部環状道路月浦トンネル建設工事現場の見学、測量機器体験	(一社)石川県測量設計業協会 金沢河川国道事務所 など
5 その他	建設系の高校	進路担当教諭	R1	4月～5月	石川県全域		石川県	土木部監理課	県内高校の進路担当教諭に対して、入職協力を依頼するとともに建設業をアピール	
6 その他	建設系以外の高校	進路担当教諭	R1	4月～5月	石川県全域		石川県	土木部監理課	県内高校の進路担当教諭に対して、入職協力を依頼するとともに建設業をアピール	
7 その他	親子	一般県民	R1	10月	金沢市		石川県	土木部監理課	土木に関する体験型イベントを通じて、子供たちに土木の魅力をPR	(一社)石川県建設業協会 金沢工業大学
8 その他	一般県民	一般県民	R1	通年	金沢市		石川県	土木部監理課	各土木総合事務所において、現場見学会や講師派遣などを開催し、県民に対して建設業を広くアピール	(一社)石川県建設業協会 各地区建設業協会

【協議会の開催時期に関する整理】

- リクルート活動を考慮する場合は、以下図のタイミングで各種対応を行う必要がある。
- それ以外の学生、小中学生対象の P R は通年を通じて実施しても効果があるが、各組織は年度末までに来年度の予算計画の策定する必要がある。



本会議は 10 ～ 11 月頃に実施し、来年度の対応方針を確認する。
各県部会は 11 ～ 12 月頃に実施し、来年度の具体的実施計画を策定する。

